

公益財団法人 日本ソフトボール協会機関誌

JSAソフトボール

2024年/令和6年
第473号
6月号
(毎月1回10日発行)

編集兼発行者 公益財団法人 日本ソフトボール協会

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 Japan Sport Olympic Square

T E L . 03-5843-0480 F A X . 03-5843-0485

編集部 ㈱日本体育社 〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-13-501

T E L . 03-3811-6911 F A X . 03-3811-6290



「ニトリ JD.LEAGUE 2024」の現場で「試合をサポート」する審判員・記録員の皆さん

C o n t e n t s

・女子U18日本代表レポート2 ワールドカップ・グループステージ代表16名を選出!	・それぞれの立場で…熱戦支える!20
・第53回日本男子リーグ第1節6	・日米対抗ソフトボール2024・概要決定!22
・ニトリ JD.LEAGUE 2024 第3節～第6節10	・事務局だより24
・第57回日本女子リーグ第2節16	

●女子U18日本代表レポート●



第15回女子U18ワールドカップ グループステージ 日本代表 **16名** を選出

去る4月23日（火）～25日（木）、静岡県伊豆市・天城ドームを会場に、「令和6年度女子U18日本代表チーム選手選考会」（※第15回女子U18ワールドカップグループステージ（中国・平潭）出場選手選考会）が開催された。選考会には、各都道府県支部協会の推薦を受けた97名が参加。「日本代表」として大会に出場する代表選手「16名」の座をめざし、厳しい選考に臨んだ。

「女子U18」のカテゴリーは、「TOPカテゴリー」同様、まず各大陸の予選（ヨーロッパ、アフリカ、北中南米、アジア、オセアニア）の5大陸の予選を戦い、それを勝ち抜いたチームが「ワールドカップグループステージ」に進出。A・B・Cの3グループに分かれて「ワールドカップファイナルステージ」進出をかけて戦い、各グループの上位2チームが「ワールドカップファイナルステージ」に駒を進め、ここに「ワイルドカード」2チームを加えた8チームで「世界1」の座を争うことになる。

各大陸の予選は、昨年～今年にかけて行われ、日本の場合、「アジア予選」にあたる「第9回女子U18アジアカップ」（昨年8月29日～9月3日、中国・平潭で開催）を「全勝」の1位で通過。この度の「ワールドカップグループステージ」に駒を進め、ここで2位以内

代表選手選考の過程はこちら



2024
ソフトボール
女子U18日本代表
選手選考会

2024.4.23～25
静岡県伊豆市
天城ドーム 他

選考会詳細はこちら

2023「第9回女子U18アジアカップ」

2023平潭U18女子垒球亚洲杯
中国共产文育年出平潭综合实验区委员会、平潭综合实验区青年垒球协会

大会結果等詳細はこちら



グループステージ出場までの「戦いの軌跡」はこちら

に入れば、来年、アメリカ・ダラスで開催が予定されている「第15回女子U18ワールドカップファイナルステージ」への出場権を手にするようになる。

従前までの大会開催方式と異なり、「アジアカップ」↓「グループステージ」↓「ファイナルステージ」と実に「3年」の月日をかけて戦うことになる。当然のことながら「女子U18」のカテゴリは、大会参加の「条件」に「年齢制限」(18歳以下)が設けられている。

(公財)日本ソフトボール協会では、「強化の継続性」を重視しながらも、この年代の選手たちの成長度合い、変化の大きさを鑑み、「アジアカップ」「グループステージ」「ファイナルステージ」それぞれの大会ごとに選手選考会を実施し、常にその時点での「ベストチーム」を編成し、大会に臨む方針を打ち出している。

今回の選手選考会には、昨年の「アジアカップ」で全勝優勝を飾り、この「グループステージ」への出場権獲得に貢献した選手も複数名おり、「一つ下」のカテゴリである「U15」の日本代表として昨年、東京で開催された「女子U15ワールドカップ」に出場した選手たちも「一つ上」のカテゴリの選手選考会にチャレンジ！高校・中学の「全国大会」で活躍する選手たちも「世界の舞台」をめざし、また、その先にある「L A 28」(ソフトボールがオリンピック競技に「復帰」する2028年ロサンゼルスオリンピック)を見据え、厳しい選考が行われた。

選考会終了後、すぐに選手選考会議が実施され、代表候補選手16名を選出。5月24日(金)に開催された「令和6年度第1回理事会」に提出され、その席上での審議・承認を経て、代表選手16名を決定。正式発表に至った。

代表選手16名の顔ぶれを見ていくと、投手陣は今春開催された「第42回全国高校女子選抜大会」で岐阜県勢「初」の全国制覇を成し遂げる原動力となった知野見桃子(多治見西高等学校/岐阜)、中学時代に「全国制覇」を経験。打撃面でも「非凡の才」を発揮する藤原真優美(兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校/兵庫)、「女子U15日本代表」ですでに「世界の舞台」を経験している長友彩莉(多治見西高等学校/岐阜)ら6名の編成。

捕手は「女子U15日本代表」の「キヤブテン」を務めた加減夢華(佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校/佐賀)、昨年の「アジアカップ」で「全勝優勝」を飾った女子U18日本代表経験のある浦川美桜(創志学園高等学校/岡山)に及川愉女(岩手県立花巻南高等学校/岩手)を加えた3名を選出。内野手は、「女子U18日本代表」の一員として昨年の「アジアカップ」を戦い、この「ワールドカップグループステージ」出場権獲得に大きく貢献した北原花葉絵(日立/神奈川)、野田愛

紗(星城高等学校/愛知)ら、すでに国際経験を有する選手を中心に、内・外野を含め、マルチに複数ポジションをこなせる選手5名をピックアップ。

外野手を「本職」とする選手は2名。女子U18日本代表として昨年の「アジアカップ」に出場した塩田優和(山梨学院高等学校/山梨)、今春の「第42回全国高校女子選抜大会」で優勝を飾った多治見西高等学校(岐阜)の「キヤブテン」であり、「トップバッター」としてチームを引っ張った渡辺華奈を選出。投手陣に「投打二刀流」の選手が多いことや内野手でも外野のポジションをこなせる選手がいることから、DPの起用も含め、このあたりはベンチワーク、選手起用がカギとなりそうだ。

チームを率いるヘッドコーチは、佐藤洋介氏(岩手県立花巻南高等学校/岩手)が就任。2019年の「第13回女子U19ワールドカップ」(当時は上限年齢が19歳。その後、現行のU18(18歳以下)にカテゴリ変更)で準優勝。決勝でアメリカと延長タイブレークの熱戦を演じ、3点を先制しながら逆転サヨナラ負けを喫するという「苦い経験」があり、「リベンジ」「世界一の座奪還」にかける思いは強いものがある。アシスタントコーチには、西山麗(NECブラッドフォード/静岡)、上地毅(香ヶ丘リベルテ高等学校/大阪)

両氏が務める。西山麗氏は2008年北京オリンピック金メダリストであり、上地毅氏は大阪の「名門にして強豪」香ヶ丘リベルテ高等学校の監督。この両氏がそれぞれの特色と強みを活かし、佐藤洋介ヘッドコーチをサポートする。

マネージャーは塩沼千春氏(帝京安積高等学校/福島)。自身も「TOPリーグ」でプレイした経験を有し、「実体験」に基づくきめ細やかなフォロー、サポートで、選手を、チームを、支える。トレーナーは昨年の「アジアカップ」から引き続き佐藤瑠美氏(一般社団法人セカンドエフォートフィットネス)が務める。西山麗アシスタントコートとともにも昨年の「アジアカップ」を経験しているだけに、今回の大会開催地が「アジアカップ」を戦った「同一会場」での開催とあって現地の状況を誰よりも熟知しており、選手のコンディションを整え、心身のケアに力を尽くし、「最高の状態」で大会へ送り出してくれることだろう。

日本が出場する「ワールドカップグループステージ」グループBは、8月14日~18日、中国・平潭で開催され、ホスト国の中国、イタリア、日本、オランダ、ペルー、プエルトリコの6チームが振り分けられ、各グループ上位2チームに与えられる「第15回女子U18ワールドカップ」出場権獲得をめざし、戦うことになる。

令和6年度 女子U18日本代表チーム (第15回女子U18ソフトボールワールドカップグループステージ出場選手)

【選手】（ポジション別50音順）

《投手》

古賀ゆいな（埼玉栄高等学校）
谷口 日彩（創志学園高等学校）
知野見桃子（多治見西高等学校）
長友 彩莉（多治見西高等学校）
藤原真優美（兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校）
村瀬 珠己（聖霊高等学校）



《捕手》

浦川 美桜（創志学園高等学校）
及川 愉女（岩手県立花巻南高等学校）
加減 夢華（佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校）

《内野手》

池田 千尋（神戸野田高等学校）
北原花菜絵（日立）
辻野由衣夏（香ヶ丘リベルテ高等学校）
野田 愛紗（星城高等学校）
船越 心結（神奈川県立厚木王子高等学校）



《外野手》

塩田 優和（山梨学院高等学校）
渡辺 華奈（多治見西高等学校）



【コーチングスタッフ】

《ヘッドコーチ》

佐藤 洋介（岩手県立花巻南高等学校）

《アシスタントコーチ》

西山 麗（NECプラットフォームズ）
上地 毅（香ヶ丘リベルテ高等学校）



《マネージャー》

塩沼 千春（帝京安積高等学校）

《トレーナー》

佐藤 瑠美（一般社団法人 セカンドエフォートフィットネス）



<p>ヨーロッパ代表</p> <p>※5チーム</p> <p>イタリア(6位)</p> <p>オランダ(8位)</p> <p>チェコ(9位)</p> <p>イギリス(13位)</p> <p>アイルランド(21位)</p> <p>()内は世界ランキング順位</p>	<p>アジア代表</p> <p>※3チーム</p> <p>日本(3位)</p> <p>チャイニーズ・タイペイ(4位)</p> <p>中国(17位)</p> <p>()内は世界ランキング順位</p>	<p>オセアニア代表</p> <p>※2チーム</p> <p>オーストラリア(10位)</p> <p>ニュージーランド(33位)</p> <p>()内は世界ランキング順位</p>	<p>北中南米代表</p> <p>※5チーム</p> <p>フェルトリコ(2位)</p> <p>カナダ(5位)</p> <p>メキシコ(7位)</p> <p>ペルー(14位)</p> <p>コロンビア(33位)</p> <p>()内は世界ランキング順位</p>
---	--	---	--

アメリカ(1位)、ブラジル(22位)はグループステージ開催国のため「ワイルドカード」でグループステージに出場。アジアカップ(アジア予選)でグループステージ開催国の中国が3位(アジアから上位3チームにグループステージ出場権が与えられる)となったため、同大会4位のフィリピン(15位)が同じく「ワイルドカード」でグループステージに出場。
 ※本来ならアフリカ大陸を含めた5大陸で予選を行うが、今大会にはアフリカからのエントリーはなかった。

各大陸予選を
勝ち上がったチームが
↓
ワールドカップ
グループステージに進出

FOR THE TITLE OF **WORLD CHAMPION**

WBSC.ORG #SoftballWorldCupWU18 @WBSC

GROUP STAGE

GROUP A	GROUP B	GROUP C
Sao Paulo, Brazil 23 - 27 July, 2024	Pingtan, China 14 - 18 August, 2024	Dallas, USA 29 Aug - 02 Sep, 2024
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;"> BRAZIL</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;"> COLOMBIA</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;"> CZECHIA</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;"> GREAT BRITAIN</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;"> NEW ZEALAND</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;"> CHINESE TAIPEI</div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;"> CHINA</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;"> ITALY</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;"> JAPAN</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;"> NETHERLANDS</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;"> PERU</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;"> PUERTO RICO</div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;"> AUSTRALIA</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;"> CANADA</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;"> IRELAND</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;"> MEXICO</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;"> PHILIPPINES</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;"> USA</div> </div>

FINALS 2025

Dallas, United States

GROUP A 1

GROUP A 2

GROUP B 1

GROUP B 2

GROUP C 1

GROUP C 2

WILDCARD 1

WILDCARD 2

WORLD CHAMPION

SILVER MEDAL

BRONZE MEDAL

グループA・B・Cの上位2チームが「ワールドカップ ファイナルステージ」に進出。

ここに「ワイルドカード」で出場権を得た2チームを加え、8チームで「世界一」の座を争う。

※世界ランキングは 2024 年5月 30 日現在のもの

◎第53回日本男子リーグ第1節◎



今シーズンも海外から世界のトッププレイヤーが続々来日する等、国際色豊かで、よりレベルの高い男子ソフトボールならではの「スピード感・迫力溢れるプレイ」が随所に見られ、球場に訪れた観客の目を惹きつけていた。

第1節ではHonda、トヨタ、ダイワアクトの3チームが快調な足取りで「開幕4連勝」を飾り、好発進。高知パシフィックウェーブ、デンソー、埼玉県庁クラブが「3勝1敗」の4位グループでこれを追いかけて、三重ヴェルデウイン、平林金属、大阪桃次郎、大阪・堺グローバル、ジェイテクトの5チームは「2勝2敗」の7位グループに。旭化成、日本エコシステム、愛媛ウエストは「1勝3敗」の12位グループ。豊田自動織機、熊本嶋田クラブ、今年新規加盟の山口水産は勝ち星を挙げることができず、「0勝4敗」の15位グループ」と出遅れる状況になった。

「第53回日本男子ソフトボールリーグ」の開幕となる「第1節」が4月26日（金）～28日（日）の3日間、広島県尾道市／尾道市御調ソフトボール球場を舞台に開催され、「全17チーム」によるリーグ戦（レギュラーシーズン）の戦い」がスタート！

「世界No.1サウスポー」 ここにあり!

先にふれた通り今節はHonda、トヨタ、ダイワアクトがそれぞれ「負けなし」の好スタートを切ったわけだが、ここではその中でも昨年に続き来日した「世界ナンバーワンサウスポー」ジャック・ベスグロープ(※TOP・U23オーストラリア代表/日本リーグではダイワアクトに所属)の「驚愕のピッチング」を取り上げておきたい。

ジャック・ベスグロープ擁するダイワアクトは初日ダブルヘッダーに臨み、まず日本エコシステム戦にそのジャック・ベスグロープの「いきなりの快投」(※5イニングを投げ、被安打0、打者15人から14三振を奪うピッチング!)、新加入・永松幸太郎のスリランホームランを含む1イニング6得点の猛攻等で6-1と快勝。続く埼玉県庁クラブとの対戦もジャック・ベスグロープを「連投」させ、「余裕」の1安打ピッチング(※7イニングを投げ切り、被安打1・奪三振17という圧巻の投球内容!)を披露する等、2-0の完封勝利。2日目のデンソー戦も「切り札」ジャック・ベスグロープが先発登板し、最終回(7回裏、デ



「世界No.1サウスポー」がさらにレベルアップした驚愕のピッチングを披露。「球速130km/h超」を連発させ、変化球も切れ味抜群! 三振の山を築いた!!

ンソーの3番・重見颯真に「想定外の一発」をくらって延長タイブレークへ持ち込まれはしたものの、ここからもう一段ピッチングのギアを上げ、追加点を許すことなく最終的に2-1で勝利(※この試合も被安打2・奪三振20という驚異的な投球内容)。最終日の高知パシフィックウェーブ戦でも相手エース・片岡大空との「見応え抜群の投げ合い」(※ダイワアクトvsジャック・ベスグロープが被安打2・奪三振

17と快投すれば、高知パシフィックウェーブ・片岡大空も7安打されながら16三振を奪う熱投! 両投手の意地とプライドがぶつかり合う白熱の投手戦となった!!)を同じく延長タイブレークの末、2-1で制し、「無傷」の4連勝! チームとしても「8年ぶりの王座返り咲き」に向け最高のスタートを切ることとなった。

このジャック・ベスグロープはまだ20歳という若さながら「2022年

翌年のU23ワールドカップでも日本を破り、優勝! 当然のごとく「MVP」を手にした



2022ワールドカップで初の優勝投手に!

第17回男子ワールドカップ(ニュージーランド・オークランドで開催)、「2023年第1回男子U23ワールドカップ」(アルゼンチン・パラナで開催)とともに「優勝投手」に輝いた文字通り「オーストラリア期待の新星」。

◎第1節終了時点 全チーム勝敗・順位

1位	Honda	4勝0敗
//	トヨタ	4勝0敗
//	ダイワアクト	4勝0敗
4位	高知パシフィックウェーブ	3勝1敗
//	デンソー	3勝1敗
//	埼玉県庁クラブ	3勝1敗
7位	三重ヴェルデウィン	2勝2敗
//	平林金属	2勝2敗
//	大阪桃次郎	2勝2敗
//	大阪・堺グローバル	2勝2敗
//	ジェイテクト	2勝2敗
12位	旭化成	1勝3敗
//	日本エコシステム	1勝3敗
//	愛媛ウエスト	1勝3敗
15位	豊田自動織機	0勝4敗
//	熊本嶋田クラブ	0勝4敗
//	山口水産	0勝4敗

※上位5チームが決勝トーナメントに進出

【大会第1日(4月26日) 試合結果】

ジェイテクト 2-1 豊田自動織機
 埼玉県庁クラブ 8-1 山口水産
 三重ヴェルデウィン 3-1 大阪桃次郎
 愛媛ウエスト 10-2 熊本嶋田クラブ
 ダイワアクト 6-1 日本エコシステム
 Honda 3-1 平林金属
 トヨタ 3-0 大阪・堺グローバル
 デンソー 6-3 愛媛ウエスト
 ダイワアクト 2-0 埼玉県庁クラブ
 Honda 5-4 旭化成
 三重ヴェルデウィン 7-2 熊本嶋田クラブ
 高知パシフィックウェーブ 7-5 豊田自動織機

【大会第2日(4月27日) 試合結果】

デンソー 4-3 三重ヴェルデウィン
 トヨタ 3-0 愛媛ウエスト
 平林金属 10-0 山口水産
 高知パシフィックウェーブ 5-2 ジェイテクト
 ダイワアクト 2-1 デンソー
 トヨタ 8-6 旭化成
 大阪・堺グローバル 7-3 山口水産
 埼玉県庁クラブ 6-3 豊田自動織機
 Honda 9-0 日本エコシステム
 高知パシフィックウェーブ 9-8 平林金属
 大阪桃次郎 4-0 熊本嶋田クラブ

【大会第3日(4月28日) 試合結果】

Honda 10-0 熊本嶋田クラブ
 平林金属 10-0 ジェイテクト
 ダイワアクト 2-1 高知パシフィックウェーブ
 大阪・堺グローバル 4-1 愛媛ウエスト
 埼玉県庁クラブ 9-3 大阪桃次郎
 旭化成 3-1 三重ヴェルデウィン
 日本エコシステム 8-4 山口水産
 デンソー 11-1 大阪・堺グローバル
 大阪桃次郎 4-0 豊田自動織機
 ジェイテクト 9-5 旭化成
 トヨタ 13-7 日本エコシステム

本号発行時期には「第2節」を終了!

最新情報は
 JSAオフィシャルサイトで!
www.softball.or.jp



東地区

日立 同率首位に躍進



ニトリ
JD.LEAGUE

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第3節～第6節



西地区

トヨタ 14戦全勝

第3節

「ニトリJD・LEAGUE 2024」第3節は、4月26日(金)〜28日(日)、「東地区」が群馬県太田市、静岡県掛川市の2会場、「西地区」が愛知県刈谷市、兵庫県尼崎市の2会場、計4会場で熱戦が展開された。



大垣 ミナモが首位・ビックカメラ高崎を破る「大金星」

「東地区」では、第2節まで「全勝」で首位を走っていたビックカメラ高崎が大垣 ミナモに1-5で敗れる「波乱」があり、続くNECプラットフォームズ戦も最終回までリードを奪われる苦しい試合展開。藤田俊の「起死回生」の逆転ツーランで土壇場で試合をひっくり返し、何とか連敗は免れたものの、通算成績6勝1敗で「同率首位」となった。前節「ホーム」で3連勝を飾った「絶好調」の戸田中央が今節も「連勝」を飾り、こちらも6勝1敗。「同率首位」に並んだ。

ビックカメラ高崎を破った大垣ミナモは、続くデンソー戦も4-2で快勝。今節連勝を飾り、通算成績4勝3敗。今節2勝1敗で4勝3敗となった日立と並んで「同率3位」に浮上した。以下、3勝4敗のデンソーが5位、2勝5敗のホンダ、NECプラットフォームズが「同率6位」。1勝6敗の太陽誘電が最下位となっている。

「西地区」では、「王者」トヨタが「安定」の試合運びで今節も連勝。2試合連続の完封勝ちで開幕からの連勝を「7」に伸ばした。

これを5勝2敗のSGホールディングスとシオノギが「同率2位」に並んで追いかける形となり、「首位」トヨタに0-1の完封負けを喫した豊田自動織機が2勝2敗の4位と一歩後退。



今節連勝で同率2位の好位置につけたSGホールディングス

以下、3勝3敗で勝率5割のタカギ北九州が5位、2勝5敗の日本精工が6位、1勝6敗の伊予銀行が7位、開幕から未だ勝ち星なく7連敗の東海理化が最下位に沈んでいる。

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第3節「東地区」太田ラウンド 群馬県太田市・太田市運動公園野球場				
月日	試合結果			
4月26日(金)		太陽誘電 ソルフィーユ	3-6	日立 サンディーバ
4月27日(土)	第1試合	戸田中央 メディックス埼玉	4-3	日立 サンディーバ
	第2試合	太陽誘電 ソルフィーユ	0-1	ホンダ リヴェルタ
4月28日(日)	第1試合	日立 サンディーバ	6-1	ホンダ リヴェルタ
	第2試合	太陽誘電 ソルフィーユ	3-10	戸田中央 メディックス埼玉

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第3節「東地区」掛川ラウンド 静岡県掛川市・いこいの広場野球場				
月日	試合結果			
4月27日(土)	第1試合	ビックカメラ高崎 ビークイーン	1-5	大垣 ミナモ
	第2試合	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	3-4	デンソー ブライトペガサス
4月28日(日)	第1試合	大垣 ミナモ	4-2	デンソー ブライトペガサス
	第2試合	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	1-2	ビックカメラ高崎 ビークイーン

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第3節「西地区」刈谷ラウンド 愛知県刈谷市・刈谷球場				
月日	試合結果			
4月26日(金)		豊田自動織機 シャイニングベガ	5-0	東海理化 チェリーブロッサムズ
4月27日(土)	第1試合	トヨタ レッドテリアーズ	5-0	東海理化 チェリーブロッサムズ
	第2試合	豊田自動織機 シャイニングベガ	10-1	日本精工 プレイベアリーズ
4月28日(日)	第1試合	東海理化 チェリーブロッサムズ	2-3	日本精工 プレイベアリーズ
	第2試合	豊田自動織機 シャイニングベガ	0-1	トヨタ レッドテリアーズ

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第3節「西地区」尼崎ラウンド 兵庫県尼崎市・ベイコム野球場				
月日	試合結果			
4月26日(金)		シオノギ レインボーストックス兵庫	5-3	伊予銀行 ヴェールズ
4月27日(土)	第1試合	伊予銀行 ヴェールズ	0-3	タカギ北九州 ウォーターウェーブ
	第2試合	シオノギ レインボーストックス兵庫	2-3	SGホールディングス ギャラクシースターズ
4月28日(日)	第1試合	伊予銀行 ヴェールズ	0-2	SGホールディングス ギャラクシースターズ
	第2試合	シオノギ レインボーストックス兵庫	5-4	タカギ北九州 ウォーターウェーブ

第4節

「第4節」は、5月10日（金）〜12日（日）、「東地区」が栃木県那須塩原市、神奈川県横浜市の2会場、「西地区」が愛知県名古屋市、京都府宇治市の2会場、計4会場で開催された。

「東地区」では第3節終了時点で「同率首位」に並んでいたビックカメラ高崎、戸田中央が1勝1敗と星を伸ばせず、7勝2敗で首位並走の状態は変わらず、今節「ホーム」横浜の大声援にも後押しされた日立が3連勝。「同率首位」に並ぶ戸田中央を7-16、ビックカメラ高崎を5-1で撃破する等、順位こそ3位のまま変わらないものの、首位並走の2チームに肉薄している。



ホームで3連勝
首位肉薄の日立

以下、4勝5敗のホンダ、デンソー、大垣ミナモの3チームが「同率4位」に並んで追いかけ、今節2勝目を挙げた太陽誘電（2勝7敗）が「勝率」の

差で7位となり、今節3連敗に終わったNECプラットフォームズが2勝8敗で最下位に転落してしまった。

「西地区」では、今節も「王者」トヨタが快調に3連勝。開幕からの無傷の連勝を二桁「10」に伸ばし、首位を独走。今節連勝で通算成績7勝2敗としたSGホールディングスが2位につけ、シオノギは「王者」トヨタとの直接対決で今シーズン「移籍加入」の三輪さくらが「古巣」相手に5回まで無失点の好投を見せたが、「東京2020オリンピックピック」金メダリスト・原田のどかの「一発」に沈み、0-2の完封負け。6勝3敗で3位に後退した。



シオノギ・三輪さくら。「一発」に泣く

以下、5勝3敗の豊田自動織機が4位、4勝4敗のタカギ北九州が5位、3勝6敗の日本精工が6位、1勝8敗の伊予銀行が7位で続き、開幕から勝ち星なしの10連敗と苦しむ東海理化が最下位。出口の見えない連敗のトンネルの中で喘いでいる。

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第4節「東地区」那須塩原ラウンド 栃木県那須塩原市・くろいそ野球場				
月日	試合結果			
5月11日(土)	第1試合	ホンダ リヴェルタ	3-2	デンソー ブライトペガサス
	第2試合	大垣 ミナモ	2-4	太陽誘電 ソルフィュー
5月12日(日)	第1試合	デンソー ブライトペガサス	1-0	太陽誘電 ソルフィュー
	第2試合	ホンダ リヴェルタ	3-0	大垣 ミナモ

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第4節「東地区」横浜ラウンド 神奈川県横浜市・保土ヶ谷球場				
月日	試合結果			
5月10日(金)		日立 サンディーバ	13-4	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ
5月11日(土)	第1試合	ビックカメラ高崎 ビークイーン	4-3	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ
	第2試合	日立 サンディーバ	7-6	戸田中央 メディックス埼玉
5月12日(日)	第1試合	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	1-6	戸田中央 メディックス埼玉
	第2試合	日立 サンディーバ	5-1	ビックカメラ高崎 ビークイーン

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第4節「西地区」名古屋ラウンド 愛知県名古屋市・パロマ瑞穂野球場				
月日	試合結果			
5月10日(金)		東海理化 チェリーブロッサムズ	1-2	トヨタ レッドテリアーズ
5月11日(土)	第1試合	トヨタ レッドテリアーズ	2-0	タカギ北九州 ウォーターウェーブ
	第2試合	東海理化 チェリーブロッサムズ	0-4	シオノギ レインボーストックス兵庫
5月12日(日)	第1試合	シオノギ レインボーストックス兵庫	0-2	トヨタ レッドテリアーズ
	第2試合	東海理化 チェリーブロッサムズ	1-5	タカギ北九州 ウォーターウェーブ

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第4節「西地区」宇治ラウンド 京都府宇治市・山城総合運動公園野球場				
月日	試合結果			
5月11日(土)	第1試合	伊予銀行 ヴェールズ	3-4	豊田自動織機 シャイニングベガ
	第2試合	SGホールディングス ギャラクシースターズ	6-0	日本精工 ブレイブベアリーズ
5月12日(日)	第1試合	伊予銀行 ヴェールズ	1-2	日本精工 ブレイブベアリーズ
	第2試合	SGホールディングス ギャラクシースターズ	10-5	豊田自動織機 シャイニングベガ

第5節

【第5節】は、5月17日(金)～19日(日)、「東地区」が栃木県那須宇都宮市、愛知県安城市の2会場、「西地区」が愛媛県西予市の1会場、計3会場で開催された(もう1会場、兵庫県豊岡市で開催予定の「西地区」豊岡ラウンドは6月15日(土)・16日(日)に開催予定)。

【東地区】は、首位を並走するビックカメラ高崎と戸田中央が連勝。通算成績9勝2敗で「同率首位」となっている。3位には、同じく今節連勝、通算成績9勝3敗の日立がピッターリマーク。虎視眈々と首位の座を狙っている。

4位には今節2勝1敗で通算成績6勝6敗のホンダ。5位には「ホーム」で首位を走るビックカメラ高崎、戸田中央との「直接対決」に連敗し、1勝2敗と星を伸ばさず、5勝7敗となったデンソー。首位争いを演じる上位3チームが好調に白星を積み重ねているだけに徐々にその差が広がってきている。

また、今節、いずれも大差で3連敗を喫した大垣ミナモが4勝8敗で6位。今節1勝2敗で3勝9敗の太陽誘電が7位で続き、このところ連敗が続く勝ち星のないNECプラットフォームズが2勝10敗で最下位となっている。

【西地区】は今節、愛媛県西予市の西予ラウンドのみの開催となったため、試合数が大きく異なり、比較が難しい状況となったが、「首位」を走るトヨタが盤石の強さを見せ、今節も連勝。「東地区」「西地区」を通じて唯一「全勝」を守り、開幕から無傷の12連勝。後藤希友、メーガン・ファライモが揃う投手陣は強力。チーム防御率は限りなく「0」(ゼロ)に近づき、今節も「無失点」で連勝を飾り、「連覇」へ向け、無敵の快進撃を続けている。

2位には9勝3敗のSGホールディングス。首位・トヨタには0-4の完封負けを喫したものの、確実に勝ち星を積み上げ、好位置をキープしている。

3位は、この第5節が6月15日(土)・16日(日)に兵庫県豊岡市で開催予定となっており(ここでは第2節北九州ラウンドで雨天順延となっていたタカギ北九州vs豊田自動織機の一戦も開催前日の6月14日(金)に実施することが決定)、試合数の異なるシオノギが6勝3敗で3位につけ、5勝3敗の豊田自動織機が4位で上位グループを形成。

以下、4勝4敗のタカギ北九州が5位、3勝6敗の日本精工が6位で続き、5節までの12試合をすでに消化した伊予銀行が2勝10敗の7位、開幕から未だ勝ち星がなく12連敗中の東海理化が最下位となっている。

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第5節「東地区」宇都宮ラウンド 栃木県宇都宮市・宇都宮清原球場				
月日	試合結果			
5月17日(金)		ホンダ リヴェルタ	5-0	太陽誘電 ソルフィュー
5月18日(土)	第1試合	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	3-4	太陽誘電 ソルフィュー
	第2試合	ホンダ リヴェルタ	0-7	日立 サンディーバ
5月19日(日)	第1試合	日立 サンディーバ	8-0	太陽誘電 ソルフィュー
	第2試合	ホンダ リヴェルタ	5-0	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第5節「東地区」安城ラウンド 愛知県安城市・デンソー ブライトペガサス スタジアム				
月日	試合結果			
5月17日(金)		デンソー ブライトペガサス	10-1	大垣 ミナモ
5月18日(土)	第1試合	大垣 ミナモ	0-10	ビックカメラ高崎 ビークイーン
	第2試合	デンソー ブライトペガサス	2-5	戸田中央 メディックス埼玉
5月19日(日)	第1試合	戸田中央 メディックス埼玉	5-0	大垣 ミナモ
	第2試合	デンソー ブライトペガサス	0-4	ビックカメラ高崎 ビークイーン

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第5節「西地区」西予ラウンド 愛媛県西予市・西予市宇宮和球場				
月日	試合結果			
5月17日(金)		SGホールディングス ギャラクシースターズ	1-0	伊予銀行 ヴェールズ
5月18日(土)	第1試合	トヨタ レッドテリアーズ	4-0	SGホールディングス ギャラクシースターズ
	第2試合	東海理化 チェリーブロッサムズ	0-8	伊予銀行 ヴェールズ
5月19日(日)	第1試合	東海理化 チェリーブロッサムズ	1-12	SGホールディングス ギャラクシースターズ
	第2試合	トヨタ レッドテリアーズ	5-0	伊予銀行 ヴェールズ

選手・チームのプロフィール、試合結果、全試合のLIVE配信はJD.LEAGUE公式サイトで

<https://jdleague.jp/>



第6節

「東地区」「西地区」それぞれの地区内で対戦する「地区シリーズ」の前半戦最後を飾る「第6節」は、5月24日（金）～26日（日）、「東地区」が群馬県高崎市、岐阜県大垣市の2会場、「西地区」が愛知県刈谷市、福岡県北九州市の2会場、計4会場で開催された。

「東地区」では、「同率首位」に並びビックカメラ高崎と戸田中央が今節初戦で「直接対決」。ビックカメラ高崎が3-2で競り勝ち、「単独首位」に立ったものの、続くホンダ戦に3-4の逆転負け。最終戦の太陽誘電戦は8-1で大勝したが、通算成績11勝3敗で「同率首位」は変わらず。

そのビックカメラ高崎との「直接対決」に敗れた戸田中央は、最終戦のホンダ戦、最終回までリードを奪いながら「まさか……」の逆転負け。今節1勝2敗と星を伸ばせず、通算成績10勝4敗で3位に後退。

今節連勝で第3節最終戦からの連勝を「8」に伸ばした「絶対調」の日立が通算成績11勝3敗とし、「同率首位」に躍進。以下、今節連勝で8勝6敗のホンダが4位、6勝8位のデンソーが5位、第3節終了時点では「同率3位」まで順位を上げた大垣ミナモは第4節

（第6節で7連敗。4勝10敗で6位、太陽誘電とNECプラットフォームズが3勝11敗の同率7位で続いている。

「西地区」は昨シーズンの覇者・トヨタが開幕から「無敗」の快進撃を続け、14連勝！他チームを寄せつけず、首位を独走している。「第5節」未消化のチームがあるため、試合数に大きな違いがあるが、2位には10勝4敗のSGホールディングス。シオノギはそのSGホールディングスとの「直接対決」で延長タイブレークにもつれ込む熱戦を劇的なサヨナラで制しながら、続く伊予銀行戦を落とし、8勝4敗で3位。今節1勝2敗の豊田自動織機が6勝5敗の4位、4勝7敗のタカギ北九州が5位、今節連勝の伊予銀行が4勝10敗の6位に浮上。3勝9敗の日本精工が7位、開幕からの連敗を「12」で止めた東海理化が勢いに乗って今節連勝。通算成績2勝12敗とした。



開幕から13試合目にして初勝利を挙げた東海理化。勢いに乗って今節連勝！

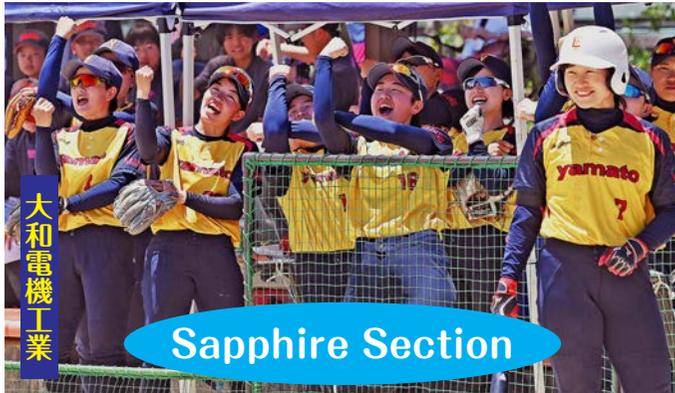
ニトリ JD.LEAGUE 2024 第6節「東地区」高崎ラウンド 群馬県高崎市・宇津木スタジアム			
月日	試合結果		
5月24日(金)		ビックカメラ高崎 ビークイーン	3-2 戸田中央 メディックス埼玉
5月25日(土)	第1試合	太陽誘電 ソルフィーユ	0-9 戸田中央 メディックス埼玉
	第2試合	ビックカメラ高崎 ビークイーン	3-4 ホンダ リヴェルタ
5月26日(日)	第1試合	ホンダ リヴェルタ	3-2 戸田中央 メディックス埼玉
	第2試合	ビックカメラ高崎 ビークイーン	8-1 太陽誘電 ソルフィーユ

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第6節「東地区」大垣ラウンド 岐阜県大垣市・大垣市北公園野球場			
月日	試合結果		
5月25日(土)	第1試合	デンソー プライトペガサス	5-1 NECプラットフォームズ レッドファルコンズ
	第2試合	大垣 ミナモ	0-8 日立 サンディーバ
5月26日(日)	第1試合	デンソー プライトペガサス	2-5 日立 サンディーバ
	第2試合	大垣 ミナモ	0-2 NECプラットフォームズ レッドファルコンズ

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第6節「西地区」刈谷ラウンド 愛知県刈谷市・刈谷球場			
月日	試合結果		
5月24日(金)		豊田自動織機 シャイニングベガ	11-0 日本精工 ブレイブベアリーズ
5月25日(土)	第1試合	日本精工 ブレイブベアリーズ	1-17 トヨタ レッドテリアーズ
	第2試合	豊田自動織機 シャイニングベガ	3-8 東海理化 チェリーブロッサムズ
5月26日(日)	第1試合	日本精工 ブレイブベアリーズ	1-4 東海理化 チェリーブロッサムズ
	第2試合	豊田自動織機 シャイニングベガ	1-2 トヨタ レッドテリアーズ

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第6節「西地区」北九州ラウンド 福岡県北九州市・北九州市民球場			
月日	試合結果		
5月24日(金)		タカギ北九州 ウォーターウェーブ	0-4 シオノギ レインボーストークス兵庫
5月25日(土)	第1試合	シオノギ レインボーストークス兵庫	5-4 SGホールディングス ギャラクシースターズ
	第2試合	タカギ北九州 ウォーターウェーブ	3-5 伊予銀行 ヴェールズ
5月26日(日)	第1試合	シオノギ レインボーストークス兵庫	2-5 伊予銀行 ヴェールズ
	第2試合	タカギ北九州 ウォーターウェーブ	2-10 SGホールディングス ギャラクシースターズ

ニトリ JD.LEAGUE 2024			
東地区 第6節終了時点 順位表			
順位	チーム名	勝敗	勝率
1位	ビックカメラ高崎 ビークイーン	11勝3敗	0.786
1位	日立 サンディーバ	11勝3敗	0.786
3位	戸田中央 メディックス 埼玉	10勝4敗	0.714
4位	ホンダ リヴェルタ	8勝6敗	0.571
5位	デンソー ブライトペガサス	6勝8敗	0.429
6位	大垣 ミナモ	4勝10敗	0.286
7位	太陽誘電 ソルフィュー	3勝11敗	0.214
7位	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	3勝11敗	0.214
西地区 第6節終了時点 順位表			
順位	チーム名	勝敗	勝率
1位	トヨタ レッドテリアーズ	14勝0敗	1.000
2位	SGホールディングス ギャラクシースターズ	10勝4敗	0.714
3位	シオノギ レインボーストックス兵庫	8勝4敗	0.667
4位	豊田自動織機 シャイニングベガ	6勝5敗	0.545
5位	タカギ北九州 ウォーターウェーブ	4勝7敗	0.364
6位	伊予銀行 ヴェールズ	4勝10敗	0.286
7位	日本精工 ブレイブベアリーズ	3勝9敗	0.250
8位	東海理化 チェリーブロッサムズ	2勝12敗	0.143



大和電機工業

Sapphire Section



第57回
日本女子ソフトボールリーグ
第2節



Platinum Section

平林金属 Peachblossoms

VONDS 市原

【第2節】 令和6年5月17日（金）～19日（日）

- プラチナセクション：千葉県市原市・ゼットエーボールパーク
- サファイアセクション：長崎県時津町・とぎつ海と緑の運動公園

☆プラチナセクション☆
VONDS 市原
平林金属 Peachblossoms
同率首位！

★サファイアセクション★
大和電機工業 首位の座守る

●第2節・プラチナセクション概要●

第2節「プラチナセクション」は、5月17日(金)〜19日(日)の3日間、千葉県市原市・ゼットエーボールパークで開催された。

「プラチナセクション」は、第1節で平林金属と厚木SSCが連勝スタート。VONDS市原とYKKが1勝1敗で並び、「前年度優勝」の静甲、ペヤングが勝ち星なしの連敗と戦前の予想を覆す滑り出しとなった。

第2節では、「ホーム」開催となったVONDS市原が3連勝。初戦のペヤング戦に6―2で快勝すると、第2戦で「全勝」で首位を走る平林金属に4―3で競り勝ち、最終戦のYKK戦は渡邊双葉、高田香の「WEES」を惜しげもなくつぎ込む投手リレーで3―0の完封勝利。「ホーム」の熱い声援に応え、今節3連勝! 4勝1敗で「同率首位」に躍進した。



首位躍進の立役者! VONDS市原の「WEES」の一人・高田香

そのVONDS市原との「直接対決」に惜しくも敗れた平林金属は、今節初戦、「昨シーズンの覇者」静甲を相手に最終回3点差をひっくり返す劇的な逆転サヨナラ勝ち。最終戦の厚木SSC戦では、これまで打線の援護に助けられてきた「EES」橋口紫織が奮起。1―0の息詰まる投手戦を制し、4勝1敗で「同率首位」に踏みとどまった。



今節最終戦で見事な完封! 平林金属・橋口紫織

これを3勝2敗のYKK、厚木SSCが「同率3位」で追い、「まさか……」の開幕4連敗を喫したものの、今節最終戦のペヤング戦を4―3で競り勝ち、今シーズン初勝利を挙げた静甲が5位開幕から未だ勝ち星のないペヤングが最下位となっている。

●第2節・サファイアセクション概要●

第2節「サファイアセクション」は、5月17日(金)〜19日(日)の3日間、長崎県時津町・ときつ海と緑の運動公園で開催された。

「サファイアセクション」は、第1節で大和電機工業が連勝スタート! 小泉病院、MORIALLWAWE KANOYA、花王コスメ小田原、Citrine Ichinomiyaの4チームが1勝1敗で並び、ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校が勝ち星なしの連敗で最下位となっていた。



第2節を終え、首位の座を守った大和電機工業

この第2節では、「単独首位」に立つ大和電機工業が、初戦のCitrine Ichinomiya戦を「ノーヒット」で1―0の勝利を収めるといって非常に珍

しい試合があり、続くルネス紅葉スポーツ柔整専門学校に13―5で大勝。このまま「独走態勢」に入るかと思われたが、最終戦のMORIALLWAWE KANOYA戦を1―2で落とし、通算成績4勝1敗。首位の座は守ったものの、今後、「混戦」になりそうな気配も……。小泉病院、MORIALLWAWE KANOYA、Citrine Ichinomiyaの3チームはいずれも今節2勝1敗で通算成績3勝2敗の同率で並んだ。互いに星を潰し合う展開となり、大和電機工業がそのまま走りそうな気配もあつたが……。MORIALLWAWE KANOYAが大和電機工業の連勝をストップさせたことで上位争いはさらに混沌とした状態に。



今後も激しい戦いが続く……

花王コスメ小田原は2勝3敗で5位、ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校が開幕から未だ勝ち星なしの5連敗で最下位に沈んでいる。

第57回日本女子ソフトボールリーグ 第2節「プラチナセクション」				
月 日	試合結果			
5月17日(金)	第1試合	平林金属 Peachblossoms	8-7	静甲
	第2試合	厚木SC	3-5	YKK
	第3試合	ペヤング	2-6	VONDS市原
5月18日(土)	第1試合	静甲	1-4	厚木SC
	第2試合	VONDS市原	4-3	平林金属 Peachblossoms
	第3試合	YKK	8-1	ペヤング
5月19日(日)	第1試合	厚木SC	0-1	平林金属 Peachblossoms
	第2試合	静甲	4-3	ペヤング
	第3試合	VONDS市原	3-0	YKK

第57回日本女子ソフトボールリーグ 第2節「サファイアセクション」				
月 日	試合結果			
5月17日(金)	第1試合	花王コスメ小田原 フェニックス	2-3	小泉病院 Blue Arrows
	第2試合	Citrine Ichinomiya	0-1	大和電機工業
	第3試合	ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校	0-9	MORI ALL WAVE KANOYA
5月18日(土)	第1試合	小泉病院 Blue Arrows	2-4	Citrine Ichinomiya
	第2試合	ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校	5-13	大和電機工業
	第3試合	MORI ALL WAVE KANOYA	0-1	花王コスメ小田原 フェニックス
5月19日(日)	第1試合	小泉病院 Blue Arrows	12-7	ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校
	第2試合	Citrine Ichinomiya	6-2	花王コスメ小田原 フェニックス
	第3試合	大和電機工業	1-2	MORI ALL WAVE KANOYA

※試合のスコアをクリックすると各試合のレポートがご覧になれます



VONDS市原の「エース」高田香選手のお父様は千葉県協会で審判員として活躍中！

「エスコートキッズ」が選手たちを各ポジションまでご案内



ソフトボールの「未来」を担う子どもたちとの「ふれあい」を大切に！ 様々なイベント等も企画・実行中!!

試合終了後、大会会場の片付け、撤収作業を手伝う選手たち。大会運営スタッフとともに作業が終わるまでしっかりお手伝い

第57回日本女子ソフトボールリーグ			
プラチナセクション 第2節終了時点 順位表			
順位	チーム名	勝敗	勝率
1位	VONDS市原	4勝1敗	0.800
1位	平林金属 Peachblossoms	4勝1敗	0.800
3位	YKK	3勝2敗	0.600
3位	厚木SC	3勝2敗	0.600
5位	静 甲	1勝4敗	0.200
6位	ペヤング	0勝5敗	0.000

サファイアセクション 第2節終了時点 順位表			
順位	チーム名	勝敗	勝率
1位	大和電機工業	4勝1敗	0.800
2位	小泉病院 Blue Arrows	3勝2敗	0.600
2位	MORI ALL WAVE KANOYA	3勝2敗	0.600
2位	Citrine Ichinomiya	3勝2敗	0.600
5位	花王コスメ小田原 フェニックス	2勝3敗	0.400
6位	ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校	0勝5敗	0.000



大会結果詳報、戦績表、チーム紹介・選手プロフィール、試合スケジュール等詳細は
JSL オフィシャルウェブサイト <https://jssl-women.com/>



熱戦のそばで、「奮戦」は続く！

特に4月12日の開幕から全国4会場にて毎週のように開催されている「ニトリJD・LEAGUE 2024」の裏側では、日々の忙しい生活・仕事と両立させながら、開催地ソフトボール協会の皆さんはもちろんのこと、リーグ派遣審判員・記録員も引き続き「奮戦」。試合を円滑に進行させるための「重要な一役」を担ってくれていることを決して忘れてはならない。

4月に開幕し、熱戦・激闘続く「ニトリJD・LEAGUE 2024」
 「第57回日本女子リーグ」「第53回日本男子リーグ」。前号（第472号・5月号／P.22・23）で取り上げたように、その舞台には主役となるチーム・選手のみならず「審判員・記録員・大会運営スタッフの方々」等々……多くの方が携わり、それぞれの立場で試合（ソフトボール）を支え、盛り上げてくれている。

それぞれの立場で… 熱戦を支える！

5月10日(金)〜12日(日)に開催された「ニトリ J.D. LEAGUE 2024」第4節/名古屋ラウンドでは、こんな「節目の一幕」も……。

2011年から「足掛け14年」にわたり「リーグ審判員」を務めてこられた濱崎哲一(はまさき・のりかず)さん(※高知県ソフトボール協会所属)が、大会3日目、シオノギレインボーリーストックス兵庫 vs トヨタレッドテリアーズ戦での球審を終え、リーグ審判員として「通算200試合」を達成。試合終了後に周囲の関係者からサプライズの「祝福」を受け、濱崎さんらしく「笑顔」で、誇らしく、記念写真に収まる光景は非常に微笑ましいモノがあった。

「正直、14年もリーグ審判員を続けられるとは……思っていませんでした(笑)。年齢的にはもう57歳ですので『やっつあと3年』というところなのですが……リーグ審判員同期にあたる草本光伯さん(愛知県協会)や松田尚也さん(大分県協会)らと引き続き刺激し合い、もともと高め合って、ソフトボールを支えていきたいと考えています。以前に比べると若くしてリーグ審判員をめざす頼もしい人材(トップレベルの現場にチャレンジし、向上心を持ち続けながら、1年でも長く力を尽くしていきたいと意気込む若手)

が増えてきているように感じています。これは私たちベテランにとつて非常に喜ばしいこと。若い世代の『良きお手本』となるよう、これからも頑張ります!!」と試合後率直な思いを語ってくれた濱崎哲一さん。



リーグ審判員として「200試合」の節目を迎えた濱崎哲一さん(右から二人目)

チーム・選手が練り広げる華やかな試合の裏側には、常にそれを支える人たちがいる。

シーズンが進んでいく中で、審判員・記録員・大会運営スタッフの「奮戦」も続いているのである。



ソフトボールを、**支え続けて!**



来る7月4日（木）～8日（月）に開催される『日米対抗ソフトボール2024』の大会概要・試合日程は次の通り。

■主催

（公財）日本ソフトボール協会
読売新聞社

■共催

〈第2戦〉
富士宮市
〈第3戦〉
横浜市

■特別後援

〈第2戦〉
静岡第一テレビ

■後援

〈第2戦〉
静岡県

■協力

〈第1戦〉
愛知県ソフトボール協会
名古屋市ソフトボール協会

〈第2戦〉
NPO法人 静岡県ソフトボール協会
富士宮市ソフトボール協会

〈第3戦〉

神奈川県ソフトボール協会
横浜市ソフトボール協会
千葉県ソフトボール協会

【試合日程】

・7月4日（木）／第1戦
愛知県名古屋市
バンテリンドーム ナゴヤ
午後7時試合開始

・7月6日（土）／第2戦

静岡県富士宮市
富士山スタジアム
（静岡県ソフトボール場）
午後2時試合開始

・7月8日（月）／第3戦

神奈川県横浜市
横浜スタジアム
午後7時試合開始

※3試合とも日本代表が一塁側、アメリカ代表が三塁側です。

※開場時間は試合開始の2時間前（予定）

「日米対抗ソフトボール」は、2016年に記念すべき第1回大会を開催。その東京ドームでの「開幕戦」には「日本代表」のレプリカユニフォームを身にまとった31500人のソフトボールファンがスタンドを埋め尽くし、「伝説の夜」として今なお語り継がれている。

2017年は前年の第2戦・第3戦が行われた宮城県仙台市のシエルコムセンで第1戦・第2戦を行い、最終第3戦をのちに「東京2020オリンピック」ファイナルが開催されることになる横浜スタジアムで開催。山本優(当時・ビックカメラ高崎/現役引退)が「逆転サヨナラ満塁ホームラン」を放ち、まるで「東京2020オリンピック」での金メダルを「予感」させるかのような劇的な幕切れとなった。

翌2018年は第1戦を東京ドーム、第2戦を宮城県仙台市のシエルコムセンで行った後、これも「東京2020オリンピック」開幕の地となる福島県営あづま球場で最終・第3戦を開催。「ソフトボール界のイチロー」山田恵里(当時・日立/現役引退)のツランホームランで挙げた2点を藤田俊(当時・太陽誘電)現・ビックカメラ高崎)、上野由岐子(ビックカメラ高崎)の投手リレーでアメリカ打線を

完封し、「東京2020オリンピック」へとつながる1勝を挙げた。

2019年は第1戦・第2戦を宮城県仙台市のシエルコムセンで行い、最終・第3戦を東京ドームで開催。前年・千葉での世界選手権(現・ワールドカップ)で「代表復帰」してきたモニカ・アポットに加え、「現役復帰」しての「代表復帰」を果たしたキャット・オスターマンを相手に息詰まる投手戦を展開。0-10のまま、延長タイブレークにもつれ込んだ8回裏、森さやか(当時・ビックカメラ高崎/現役引退)がヒットエンドランを決め、サヨナラ勝ち。「東京2020オリンピック」への「自信」が「確信」に変わる勝利だった。

2020年、2021年はコロナ禍のため開催できず、異例の「1年延期」「無観客開催」となった「東京2020オリンピック」で日本がアメリカを倒し、2008年の北京オリンピックから13年越しとなる2大会連続の金メダルを獲得。その後は、オリンピック・レガシーの継承の一環として開催され、一昨年(福島県営あづま球場で2試合、横浜スタジアムで1試合)、昨年(アメリカ代表が「東京2020オリンピック」の事前キャンプを行った山口県若国市「絆スタジアム」での第1戦を皮切りに、第2戦を

福島県営あづま球場、最終・第3戦を横浜スタジアムで開催)に引き続き東京オリンピックベニューである横浜スタジアムで開催するほか、J.D.リーグのチームが多く集まる中京圏での初開催として、今年、野球の国際大会「プレミア12」の会場ともなるバンテリンドームナゴヤ、1998年の「第9回世界女子ソフトボール選手権大会」(現・ワールドカップ)の開催から長年にわたり全国大会や日本リーグの会場として親しまれている静岡県富士宮市のソフトボール専用球場・富士山スタジアムで開催されることになった。

2028年ロサンゼルスオリンピックでの競技復帰も決まり、この「日米対抗ソフトボール2024」の開催は「第17回ワールドカップファイナルステージ」(7月15日(月・祝)〜21日(日)/イタリア・カステイオンス・デイストラータ)開催直前。「ファイナル」(決勝)で顔を合わせるであろう「最大のライバル」が、その「前哨戦」として激突する、まさに「世界最高峰」の戦い。ソフトボールファンなら決して見逃すことのできない「熱い戦い」が展開されること間違いなし!「日米対抗」から始まり、「ワールドカップファイナルステージ」での「王座奪還」を経て、「LA28」へと続く「金メダルロード」。戦いはもう始まっている!!



事務局だより

ソフトボールどころ・御調で今年も日本男子リーグを開催！

去る4月26日（金）に開幕し、熱戦の火蓋が切られた「第53回日本男子ソフトボールリーグ」。日本男子リーグのシーズンスタートを告げる舞台といえば、やはりソフトボールどころ・御調（みつき）。今年も広島県尾道市／尾道市御調ソフトボール球場において「第1節」が開催され、男子ソフトボールトップレベルの激闘が繰り広げられた。

御調ソフトボール球場がある尾道市御調町は、中学・高校男子ソフトボールの「強豪」尾道市立御調中学校（※全中優勝3回）、広島県立御調高等学校（※選抜準優勝3回、インターハイ優勝1回・4校同時）の「地元」で、ソフトボールが盛んなまちとして知られており、これまで10年以上「日本男子ソフトボールリーグ」を開催。リーグが東西統一された2019年以降は、全チームが一堂に会する開幕第1節を毎年開催してくれている。

大会期間中は尾道市が全国に誇る「4面同時進行が可能なソフトボール

専用球場」をフル活用。主管である広島県協会・尾道地区協会の皆さんが「丸」となって「審判・記録・運営」に「奔走」し、選手たちの熱戦を支えてくれている。

また、第1節2日目・3日目（土曜日・日曜日）はすべての試合で「子どもたちによる始球式」を実施。参加してくれた尾道市内の小・中学生たちはそのまま球場に残り、男子トップレベルの試合を間近で観戦。迫力満点のプレイの数々に「やばっ！すごいね!!」と目を輝かせ、夢中になる姿は、さすが、ソフトボールどころの面目躍如といった光景だった。



始球式を終えた後、そのまま観戦に夢中になる子どもたち



現在「審判員」として教え子の活躍を見守る安藤繁孝さん（※写真は2014年全中優勝時／安藤さんは1列目右端）

今大会の副審判長で、現在尾道地区協会審判委員長を務めている安藤繁孝さんは「元・御調中学校男子ソフトボール部監督」という経歴の持ち主。御調中三代目の監督として2014年・2016年と「二度全国制覇」を成し遂げた安藤さんは、毎年この第1節「審判員」として「教え子たちの活躍」を見守っている。長井風雅（※Honda所属／2013年全中準優勝投手）や宮本海斗、藤原綜俊（※宮本海斗は豊田自動織機、藤原綜俊はHonda所属／2014年全中優勝バッテリー）らはそれぞれ御調中学校の名を全国に轟かせた「かけがえのない存在」であり、「彼らが今もこうして「ソフト



リーグ開催を長年支えてくれている方々

ボールを続けてくれている」こと、日本リーグの選手として「毎年御調に帰ってきてくれる」ことが何より嬉しいですし、私自身の励みにもなっています」と大会中想いを語ってくれた。

男子ソフトボールをメジャーに！野球やサッカーに負けないような華やかな競技・スポーツに変えていきたい!! 皆で夢や理想を語るのももちろんいいのだが……こうして長年、地道に大会を運営し、支え続けてくれている方々がいるということをまず忘れないでほしい。

たとえその環境が華やか、豪華でなくとも、チーム・選手がプレイする舞台は、ソフトボールを愛する人たちの「様々な想い」によって成り立っている。

そしてそれが「非常に尊いモノ」であるということを、心に留めておいてもらいたい。